

EPA受験者【言語能力チェック】の方法

【一目で分かるチェック表】を使って、ぜひ試してみよう！！

- ★ 今回の介護士国家試験合格率は、50.9%と低い合格率だった。その低さの原因の一つとして、「受け入れ施設が正確に受験者の言語能力を把握していない」ために、適切な対応ができなかったことにある。
- ★ 受験までの三年間に、適切な対応がとれば、合格率は必ず、現状よりも高くなることは間違いない。そのためには、入職時の言語能力を客観的に把握できる方法で、能力の到達度を見定めることが重要だ。
- ★ そこで、弊社では日本語教育の専門家でなくても、受験者の能力をある程度把握できる【言語能力チェック表】を、本号2頁目に公表することとした。
- ★ この表に基づいて、教育指導者の判断で、項目別にできる割合を「○・△・×」で表すと評価できる。能力評価は、細項目を合計して、主項目「A・B・C」の評価とする。但し、指導者の評価は主観的になるが、ある程度の傾向は捉えられる。

<現在の【言語能力】をチェックすることが大切>

1.【現在の「言語能力」を把握するためには、技能チェックが必要】

- 受け入れ施設の多くの指導者は、「日本語教育と受験対策学習を、分けて捉えている」指導者が圧倒的に多い。しかし、日本語教育の専門家は、【言語能力】として位置付けて指導する。
- その理由の一番目は、国家試験問題は日本語文で出題されていることだ。二番目に、受験日までの三年間、日本語を使って業務をするために、職域言語を使用しなければならない。
- 三番目に、合格後は日本人と同様の業務を果たす能力を要求され、「日誌や記録を書く必要」があるからだ。
- 【言語能力】は表1の通り、10項目の技能に基づいて、能力の評価をすることが重要だ。
- この基準は、日本語教育専門家か、否かを判断する根拠となる。また、【言語技能】を客観的な数値で把握でき、正しく受験者に教育できる基準となる。
- 専門家でない指導者は、【言語技能】の知識を知らず、事業団教材を基に教えているだけだ。しかし、表1を基に、受験者の評価をさせてみることは、指導者の能力を見るために重要だ。

2.【「言語能力チェック表」の使い方】

- 表3の「A、国家試験合格能力を養う」の細項目1～5までのチェック方法は、「記述式で答えさせること」が重要だ。その理由は、記号選択(マークシート方法)では、【言語能力】が表せないからだ。
- 能力を見る試験問題は、どんな教材でも良い。例えば、事業団教材であっても、答えをノートに記述させれば良く、また、専門用語の「漢字読み」についても、読み方をノートに書かせれば良い。
- 「B、利用者に対する対応能力を養う」と、「C、外来者に対する対応能力」は、音声言語の「会話力」を見ることが、第一の目的だ。
- しかし、【言語能力】としては、【要約力と応用力】を評価するもので、その評価の仕方は、会話の内容をノートにまとめさせて、その文が正確であるか、否かを見れば良い。しかし、多くの場合、文すら正しく書けないのが実態だ。

3.【「言語能力」とは、文字言語で表す能力をいう】

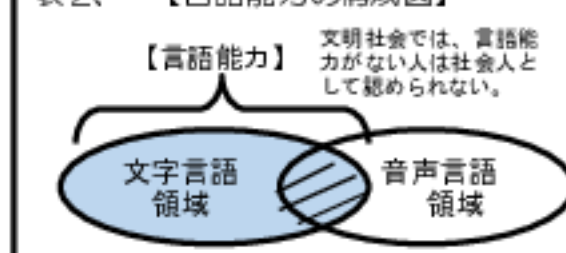
- 表2は、「人間の言語に関する能力を表した構成図」で、日本社会で働く上で、絶対、必要不可欠な能力だ。即ち、社会活動をする上で、文字を使った言語能力がなければ、社会人として働くことができないからだ。
- 【言語能力チェック表】の主項目(A・B・C)は、全て文字言語で表現する内容に置き換えることができる。その評価の仕方は、2の項目で述べた通り、どの程度の【言語能力】があるか、どうかを客観的に文で判断できる。
- 入職して一年目の終わりに評価し、二年目の終わりに評価し、三年目の受験前にも評価することが、受験者の【言語能力】の変化を把握でき、適切な指導の根拠となる。

表1、

【言語技能項目】

瞬時反応(正誤問わず)
瞬時反応(正解反応)
文字能力「漢字」
文法能力「です・ます・たれ」
助詞能力「助詞・接続助詞」
構文能力「単文・重文・複文」
読解能力「短文・中文・長文」
語彙能力「和語・漢語」
文意能力「単文・重文」
文脈能力「接続詞・指示語」
丁寧表現「尊敬語・謙譲語」

表2、【言語能力の構成図】



- 多くの受験者は、ほとんどの学習方法をマークシート方法で行っているために、【言語能力】としての日本語力がなく、職域の実践力が、身についていない。

表 3、 **【EPA介護士候補者の言語能力チェック表】**

到達度試験に一年目で参加し、「初回レベル～国試3レベルまで終了」。三年目まで継続した施設の場合と、「到達度試験に参加したことのない施設」の場合の能力差を表わした表。

言語能力を養える項目	一年目から参加	三年間参加	不参加
A、国家試験合格能力を養う (言語能力)	△	○	×
1、専門用語の習得	△	○	△
2、専門用語の用法能力	△	○	×
3、専門知識の習得	△	○	△
4、専門知識の応用能力	△	○	×
5、専門用語と専門知識の応用能力	△	○	×
ア) 介護日誌の作成	△	○	×
イ) 報告書の作成	△	○	×
ウ) 必要書類の作成	△	○	×
要約能力が必要			
B、利用者に対する対応能力を養う (要約力)	△	○	×
1、職員との会話が支障なくできるか、否か	△	○	△
2、利用者との会話が支障なくできるか、否か	△	○	△
3、二年目から夜勤ができるか、否か	△	○	×
4、状態把握力を基に、報告能力が有るか、無いか	△	○	×
5、状態把握をしたものを記録化できるか、否か	△	○	×
6、自発的に利用者対応ができるか、否か	△	○	×
C、外来者に対する対応能力 (日本語の応用力)	△	○	×
1、外来者との対応を作法に従って、できるか、否か	△	○	△
2、外来者との会話で正しく対応できるか、否か (丁寧語・尊敬語・謙譲語の能力)	△	○	×
3、外来者からの要望を聞き、上司にそれを報告できるか、否か (要約力が必要)	△	○	×
4、外来者に施設の良い点等を説明できるか、否か (施設の特色把握や法制度についての理解力)	×	○	×

- ※ 重要点 1、専門語彙と専門知識に対して「対応力並びに、応用力」を養わなければ、実践的な介護士として使えない。
- 2、会話の要約や文の要約などは、その状況を把握して要約ができなければ、適切な発言とならずに、誤解・誤認を招く恐れがあるので、【要約力】が絶対不可欠。
- 3、従って、三年目には実践力を身につけさせるために、【要約能力を養うことを目的とした学習】が必要となる。その上で、国家試験合格能力を養うことが重要。
- ※ 【到達度試験】の参加時期は、入職直後の1年目からが望ましく、教育効果が上がる方法だが、一年目は、他の方法で学習させて教育効果が上がらずに、二年目から参加する施設も数多くある。
- ※ また、一年目の教育効果が高いために、二年目からの継続的な参加を取りやめて、施設内での「自己流の受験対策学習」を行ったために、「不合格」となった例もある。極力、【三年間計画】に基づいた学習の継続が、【国家試験合格】に対する絶対的な保障となる。

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試2レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

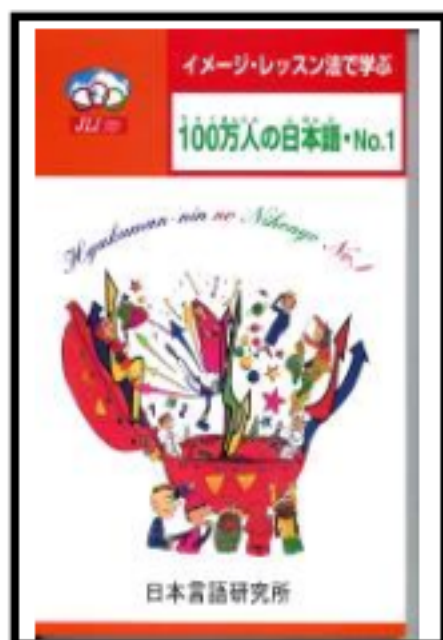
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

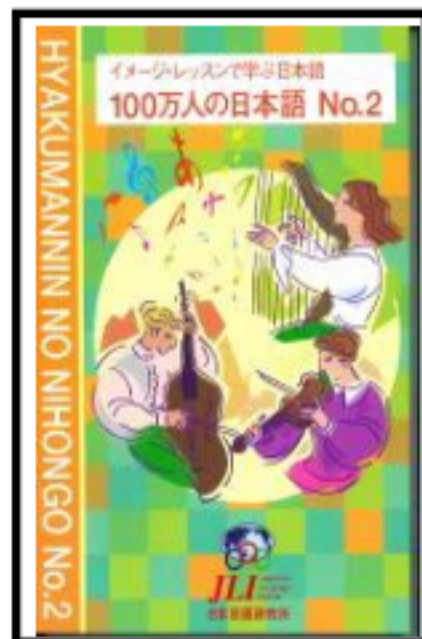


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引きいて調べることができます。(3,300 円)

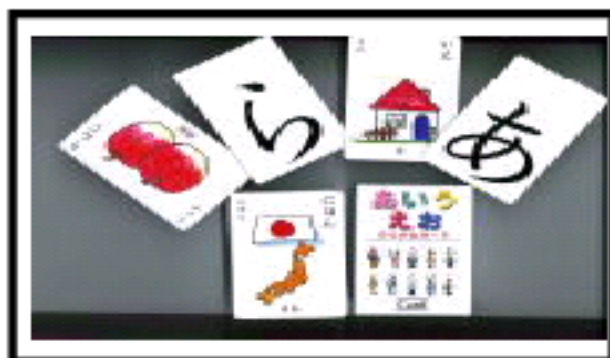
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

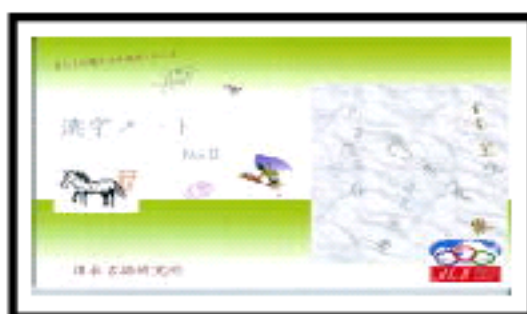
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)